

立原弘一

たちはら・ひろいち



「住民こそ主人公」が私の原点です。市議4期目も、この原点を心に据えてがんばったと思っています。

大企業優先・福祉切捨てのアベノミクスで、市政にも重圧がのしかかり、これから4年間が正念場と感じています。

切実な暮らしのねがい実現と、平和を守り、みなさんのお役に立つため一生懸命がんばります。ひきつづきあたたかいご支援を心からおねがい致します。

「住民こそ主人公」の原点まもり 市民のみなさんとともに住みよい鹿嶋を

民報かしま

2015年2・3月号外 日本共産党の見解を紹介します。
<発行> 日本共産党鹿嶋市委員会 鹿嶋市宮中5261-1
電話・FAX 84-6108

略歴

- *鹿嶋市宮中に生まれ育つ
- *鹿嶋中・神栖高卒、駒澤大学中退



- *京懐石店で修行後、家業のレストランで働き、洋菓子店を開業
- *父・立原次郎は旧鹿島町で日本共産党町議を3期(87年まで)
- *1999年初当選・市議4期／市議会広報委員長・災害復興対策特別委員長を歴任
- *「明日の鹿嶋を考える会」幹事長
- *58歳



- ◎「住民こそ主人公」で、市民の声とねがいを市政・国政に届けます。
- ◎原発再稼働・戦争する国づくりにきっぱり反対します。
- ◎地方行政骨抜きの悪政と対決し、くらし・福祉・教育・命を守る共同の輪を広げてがんばります。
- ◎「困ったときは共産党」と頼りにされる議員として、生活SOSにこたえてがんばります。

こんどはなんとしても複数議席に！

川井ひろ子さんを擁立して、日本共産党の念願の複数議席をめざします。

(活動地域は立原=旧鹿島町地域、川井=旧大野村地域)

立原弘一のお約束

命

臨海コンビナートの事故多発

- 鹿島臨海工業地帯の安全・保安規制を、企業の利益優先で「規制緩和」した「鹿島経済特区」認可（2003年）から事故が激増。年間事故件数は、認可前平均の6.7倍にもなっています。特にこの数年激増。「特区との関係は認識していない」という市と対決し、「労働者の命を守れ。認可返上を」と主張しつづけています。

財源

金食い虫の港湾負担が問題でした

- 大切な市民の税金は暮らし最優先に。鹿島港建設費の「一割地元負担」浮上に「まったく！」質問を粘り強くつづけ、外港埠頭建設などでの巨額の市負担を回避させてきました。

環境

不法埋立てに住民パワーで

- 危ない業者の危ない不法埋立てに、恒常的な住民の反対運動組織が立ち上がり、翔法律事務所とも力をあわせて住民パワーで対決。まだ環境破壊が収まつたわけではありませんが…。

詳細は
パンフレット
「いまが潮流」
を参照ください。

清潔

「たかが菓子折」と済ますわけにいかない事件でした

- 金権と無縁の「清潔」さこそ「住民が主人公」の市政の大前提。警告も無視して大量の菓子折などをばらまいた昨年の市長選「菓子折事件」は異常でした。残念ながら、検察の「起訴猶予」（注・事実は認定して猶予）で居座りをゆるす結果になっ

ていますが、こんな事を繰返させてはなりません。

- 救いは、市議会でも約3分の1の議員が「許せない」と立ち上がったこと。一緒に力をあわせて、共同の輪が広がりました。

おあずかりした議席大切にして

立原弘一

4年間の

活動報告

4期め

市民生活“SOS”

国民いじめの悪政が加速した4年間でした

- 「弱肉強食は社会の活力源」とばかりに、生活保護バッシングと給付削減・介護制度改悪・保育制度の変質など進められて、SOSの深刻な生活相談もふえ、がんばりました。市議会でも「国保証とりあげするな」「生活弱者へのあたたかい対応を」と激励してきました。



- 課題の医療過疎では、安倍政権は病院ベッド大削減計画。「おおもとの改悪を見過ごさず、他自治体とも連携して意見を」と市長に対応を約束させました。

非常時

始まりは3・11でした

- 「こんな時は共産党にやらせてみっぺ」と、市議会災害復興対策特別委員会の委員長に。ライフライン・被害救済・政府交渉と行政と一緒にかけずり回りました。

- うれしかったのは、その前3期で「急げ」と主張しつづけた学校耐震化が、ぎりぎりで間に合ったことでした。

難問

平井東部苦渋の選択でした

- 市が13.9億円の損失補償をしたツケが、ついに裁判所の「払え」勧告に。震災で地盤流動化と300人超の地権者の救済に、市施行化と利子棚上げ決着に、力をあわせました。